



Okinawa Prince Hotel Ocean View Ginowan

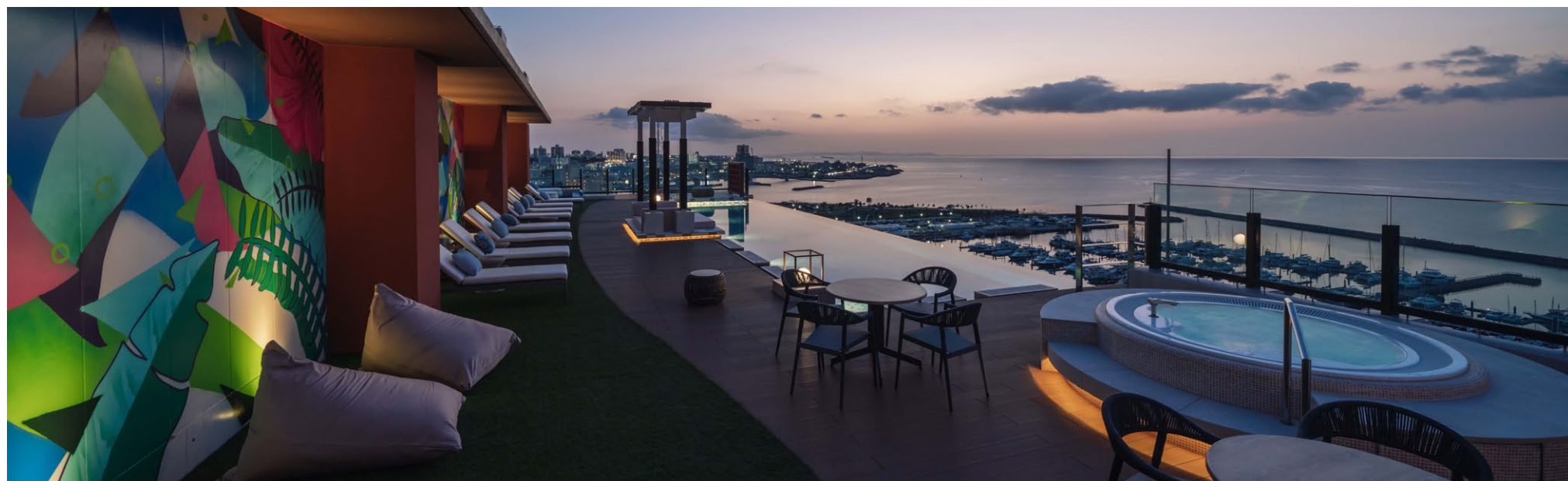
宜野湾の風をコンセプトにうまれたホテルで過ごす「時間」を、アートテーマは「風と遊ぶ散歩道」と捉えました。一步進むごとに会う、広がる空と海色の戯れ、庭先に咲く花の軽やかさ、畑の生命力、やんばるが誘う神秘の世界。その一步一步を、沖縄伝統工芸の新しいカタチに挑戦し続ける作家達ならではの手仕事と共に演出しています。

名称
沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん

開業
2022 年 4 月

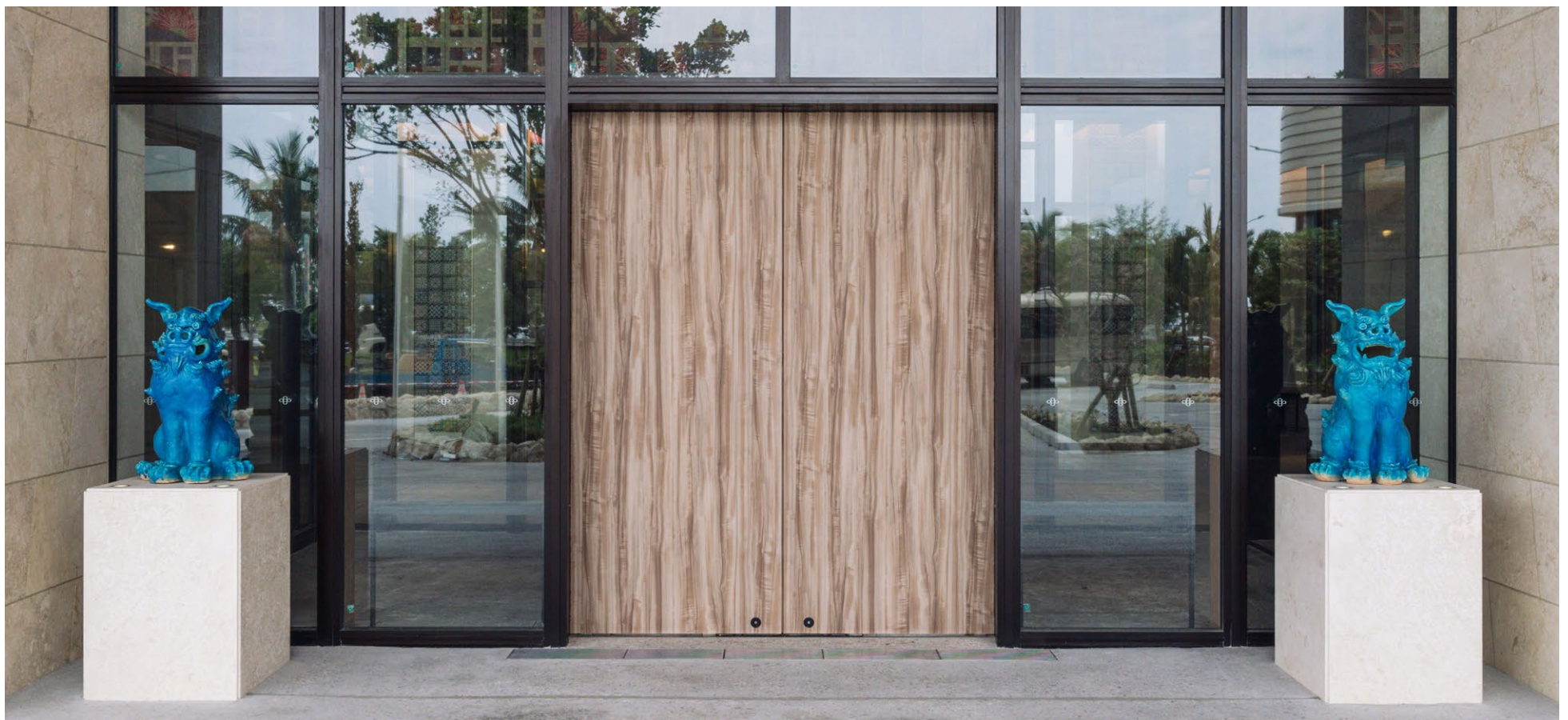
事業主
株式会社プリンスホテル

インテリア設計
パブリックスペース：株式会社フィールドフォー・デザイン
オフィス／クラブラウンジ：ハーシュ・ベドナー・アソシエイツ



1F Entrance - Reception: 海に吹く風

目の前に広がる宜野湾の海の色景色を、エントランスの中まで運んできました。最初の風遊びは、愉快的表情でお客様を出迎える翡翠色のシーサーと共に。印象的に連なるブルーで染め上げられたレセプションの大型紅型作品は、海に吹く潮風や波・風の動きなどを軽快に描いています。沖縄を代表する伝統工芸に新しい色情を添えて。



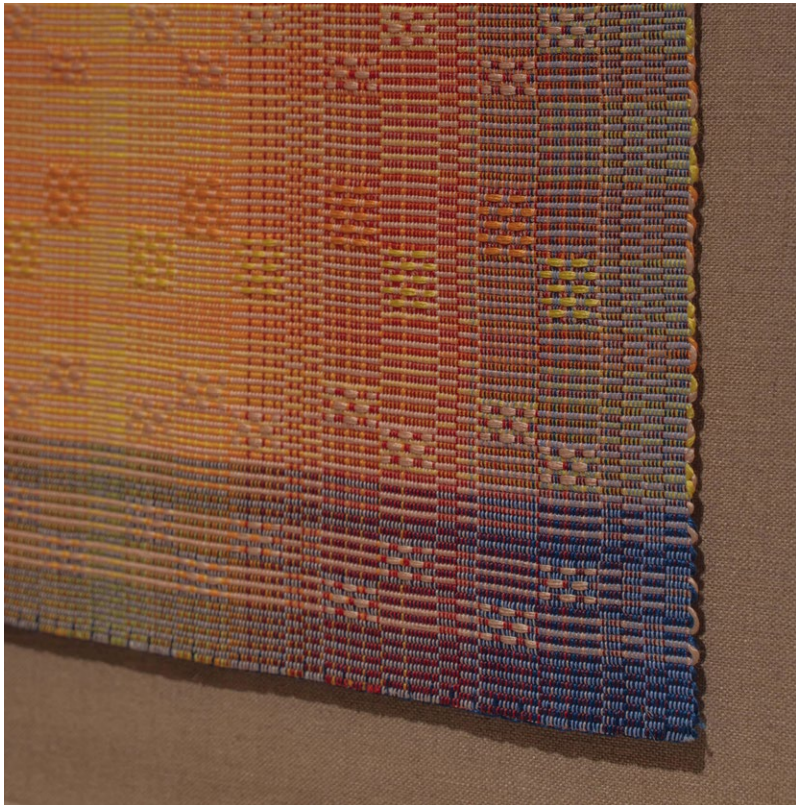
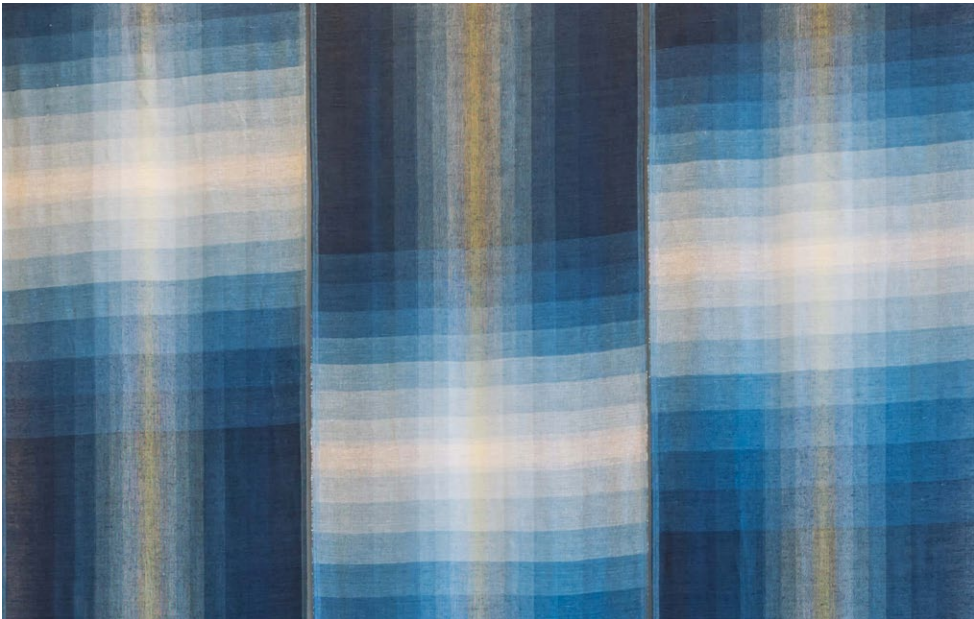
1F All Day Dining: 地面に吹く風

ホテル内に足を進めていくと、そこには沖縄内陸の台地美が広がります。赤色の花々たちが庭先で揺れ咲く姿をやちむんで再現。その先には島の長寿生活を支える、はるさーが育てた野菜の色や形を捉える紅型アート。食を楽しむシーンの隠し味として、目で楽しく味わう沖縄土壌の恵を演出しています。



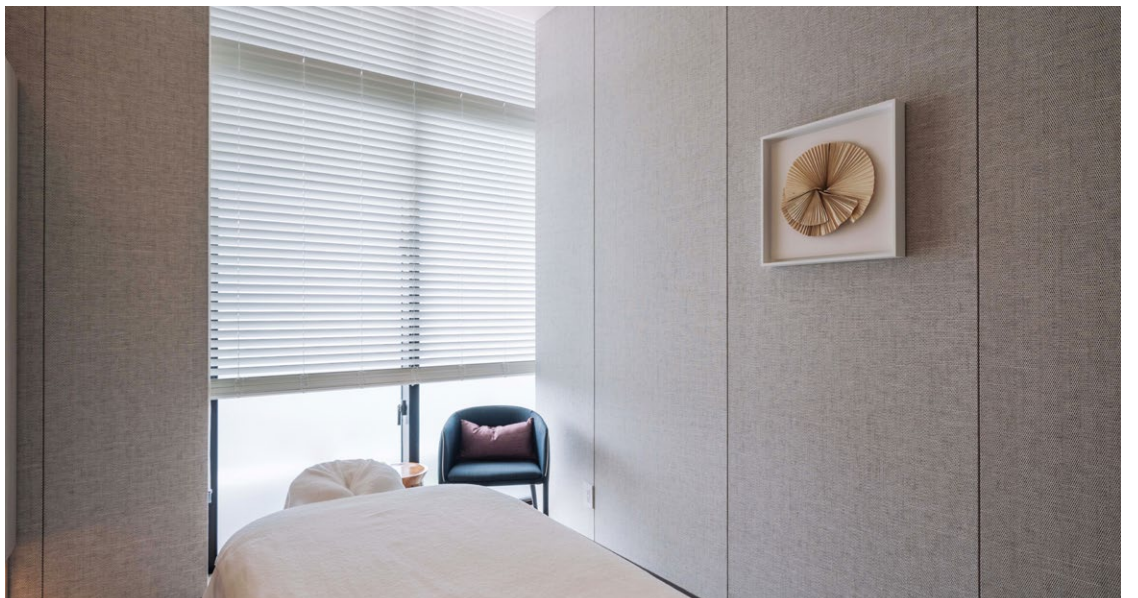
2F Banquet Room: 空との境界に吹く風

太陽だけが描ける空と海の境界線。自然と時間の色遊びをふたつの異なる伝統工芸で表現してみました。
海と空が織りなす青色のパレットをホテルの空間に繋げるのは沖縄藍染のタペストリー。沖縄藍の世界の奥深さと美しさが大胆に織り上げられています。
一方で夕暮れの一コマを表現するのは首里織のカラフルな色使い。西に向く宜野湾の水平線に夕日が色を差す瞬間を捉えます。



2F Wellness Area: 森に吹く風

内陸にそびえる沖縄の自然が持つ神秘的な魅力にフォーカス。ウェルネスエリアの長い廊下には、ムイヌカーへのオマージュとして、ここだけのやんばるを描きます。沖縄ならではの瑞々しい緑の世界を歩き進むと出会うハベル（蝶々）やクバの葉。語り継がれる物語やしまんちゅの知恵の美への好奇心を繋げるきっかけにアートが貢献します。



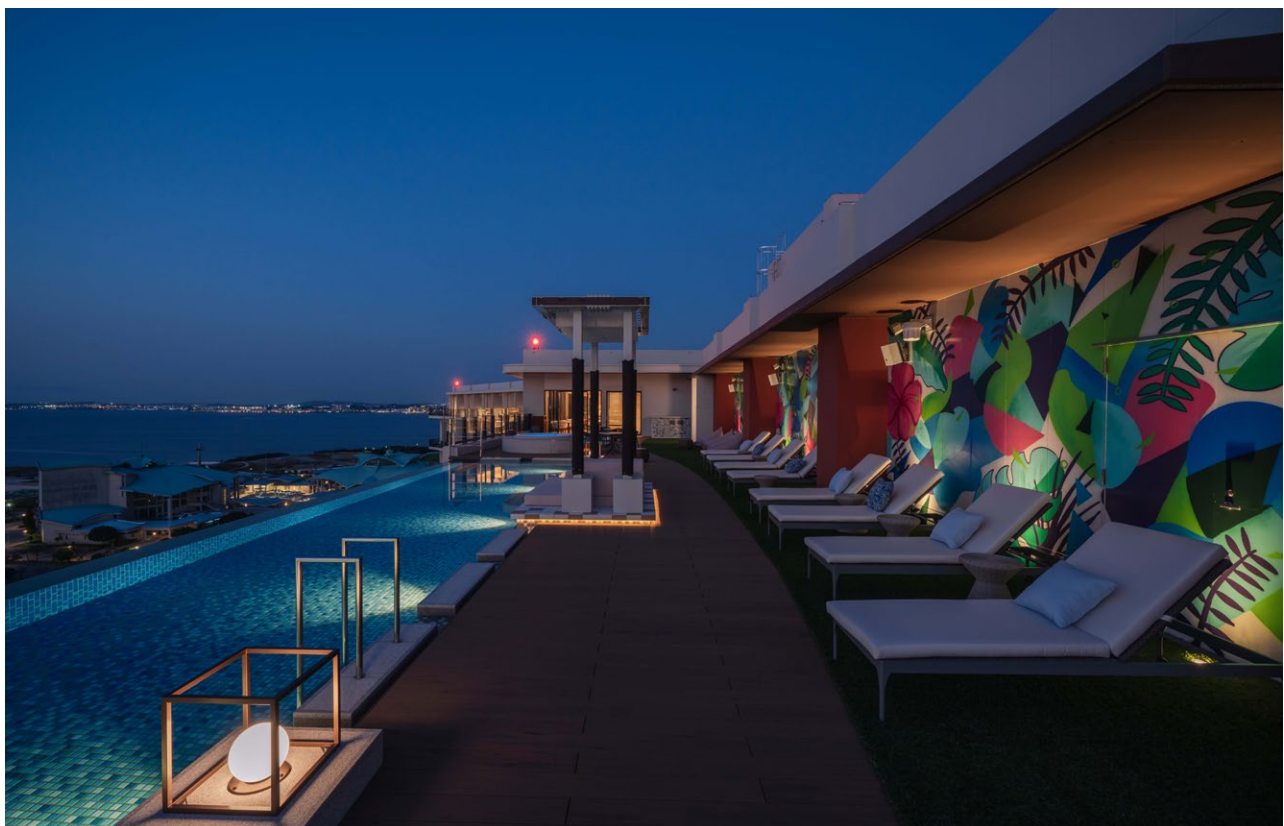
14F Club Lounge



3-14F Guestroom Floor



14F Outdoor Pool



ICA

Interculture Art Inc.

ICA Bldg. 4F, 560-2 Waseda-Tsurumakicho,
Shinjuku-ku, Tokyo 162-0041

t: +81(0)3-3207-3911

e: contact@intercultureart.com

intercultureart.com

©Interculture Art Inc.